

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)

第20期分配金は80円(1万口当たり、税引前)

2015年10月20日

平素は、『ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2015年10月19日に第20期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして、80円(1万口当たり、税引前。以下同じ。)と致しましたことをご報告申し上げます。

第20期決算(15/10/19)にかかる分配金を従来の100円から80円に引き下げましたのは、現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを総合的に勘案した結果によるものです。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

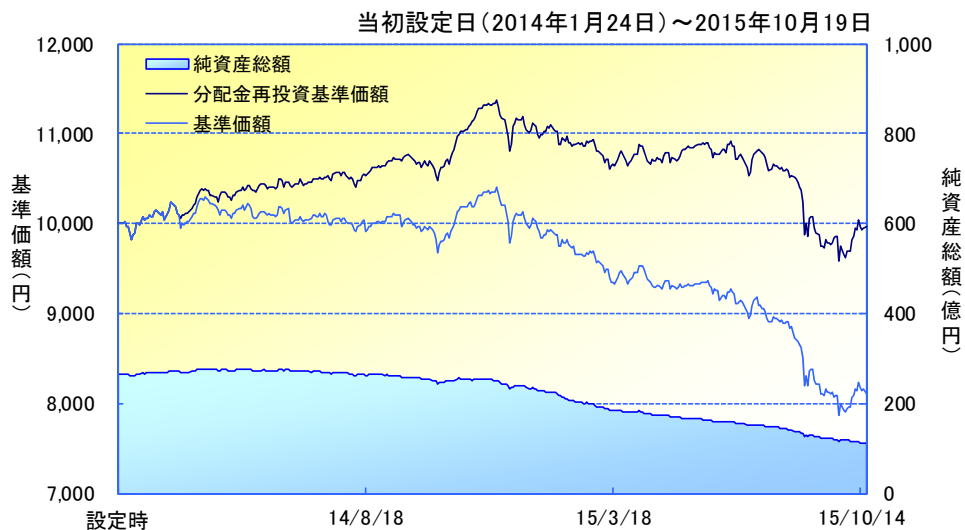
《基準価額・純資産・分配の推移》

2015年10月19日現在

基準価額	8,103円
純資産総額	112億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～15期	合計:	1,500円
第16期	(15/6/17)	100円
第17期	(15/7/17)	100円
第18期	(15/8/17)	100円
第19期	(15/9/17)	100円
第20期	(15/10/19)	80円
分配金合計額	設定来:	1,980円
	直近5期:	480円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

よくあるご質問 (Q&A集)

Q1 なぜ、分配金を100円から80円に引き下げたのですか？

A1 現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを考慮した結果、今後も継続した分配を行ない、信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。

弊社の分配金の考え方は、ファンドの収益分配方針、配当等収益や分配対象額の状況、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金額を決定するというものです。

当ファンドの分配金を引き下げましたのは、現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを総合的に勘案した結果によるものです。

当ファンドの基準価額は、2014年12月以降、新興国通貨の対円為替レートの下落などにより下落傾向にありましたが、特に今年8月半ば以降は世界的な株式市場の下落などリスク回避的な動きが広がり、新興国通貨の対円為替レートも下落し、基準価額は下落しました。それに伴い、当ファンドで期待されるインカム性収益の額も減少しています。

当ファンドの場合、インカム性収益とは、①債券の利息、②通貨カバードコール戦略で得られるオプションプレミアムが該当します。インカム性収益を超える分配金の支払いは分配対象額を減少させ、基準価額を下落させることになります。

このような状況を踏まえ、今後の継続した分配を行なうためには、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。今回、分配金を引き下げたことによる差額はファンドの純資産に留保されることとなります。

なお、当ファンドの収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ◆ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ◆ 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

よくあるご質問 (Q&A集)

Q2 80円分配はどのように決定したのですか？また、80円分配はいつまで続けられる見通しですか？

A2 分配金は、収益分配方針に基づいて、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

当ファンドは、収益分配方針において「原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づいて、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、現在の分配金の水準を維持できない、あるいは分配金が支払われない場合もあります。特に分配対象額の減少、インカム性収益の低下、基準価額の下落などは分配金の引き下げ要因となります。

Q3 分配金を事前に知ることはできないのですか？

A3 決算日(毎月17日、休業日の場合は翌営業日)の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

分配金は事前に決定しているものではなく、ファンドの決算日(毎月17日、休業日の場合は翌営業日)に、ファンドの収益分配方針、配当等収益や分配対象額の状況、基準価額の水準等を勘案して委託会社(大和投資信託)が決定します。したがって、事前にお知らせすることはできません。

夕方から夜にかけて委託会社のホームページ(<http://www.daiwa-am.co.jp/>)で基準価額とともに分配金を公表します。公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

Q4 分配金を引き下げということは、今後の運用に期待できないということですか？

A4 分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。

今回の分配金引き下げについては、現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを考慮した結果によるものです。したがって、分配金の引き下げは今後の運用実績とは関係するものではありません。なお、運用成績は、分配金に加え基準価額の動きも含めたトータルリターン(総収益率)で確認する必要があります。

引き続き、新興国の現地通貨建債券への分散投資とオプション取引を活用した通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

⇒最近の投資環境と今後の見通し・運用方針については、Q5をご覧ください。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q5 最近の投資環境と今後の見通し・運用方針について教えてください。

A5 新興国の債券・為替市場では、米国の利上げ開始時期をめぐる思惑や原油価格などの商品市況の動向に加え、各国の政治情勢や財政状況などにより相場の変動性が高まっています。ただし、各国の状況は一律ではないことから、分散投資を原則としつつも、魅力的な投資機会を狙い、投資対象国を選別していきます。

【最近の投資環境】

新興国の債券・為替市場では、米国の利上げ開始時期をめぐる思惑や原油価格などの商品市況の動向に加え、各国の政治情勢や財政状況などにより相場の変動性が高まっています。

<債券市場>

米国の金融政策正常化への思惑などを受け、金利は多くの国で上昇しています。

・アジア地域

インドネシアでは、インフレ圧力の高まりから金利は上昇傾向にあります。タイでは、利下げが行なわれてきたことから金利は低下傾向となっています。マレーシアでは、原油価格の変動の影響を受けていますが、直近は原油価格が反転上昇をみせ、財政悪化懸念が後退したことから、金利上昇は一服しています。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは2015年6月の総選挙で与党が過半数の議席を獲得できず、政治的な不透明感の高まりにより金利は上昇傾向にあります。南アフリカでは、電力不足懸念や中央銀行によるインフレへの警戒的な姿勢から利上げ観測が台頭しており、金利は上昇傾向にあります。ポーランドでは、2015年3月の金融政策決定会合で利下げサイクルの休止が表明されており金利の低下が一服しています。

・中南米地域

ブラジルでは、インフレへの警戒から政策金利が引き上げられてきたことに加え、政治的な不透明感の高まりや財政懸念から金利は上昇しています。メキシコでは、原油価格や米国債券市場の影響を受け金利の変動性が高まっています。ペルーでは、インフレの上昇を受けて金利は上昇傾向にあります。

<為替相場>

米国の金融政策正常化の見通しを背景とした新興国からの資金流出懸念を受けて、対円で多くの通貨が下落しています。

・アジア地域

中国経済の減速懸念から、経済成長に対する不透明感が高まっているインドネシア・ルピアやタイ・バーツ、原油価格動向の影響を受け、格下げが懸念されたマレーシア・リンギットは対円で下落しています。

・欧州・中東・アフリカ地域

政治的な不透明感の高まりが嫌気されたトルコ・リラ、電力不足懸念や外部要因の影響を受けた南アフリカ・ランドが対円で大きく下落しています。ポーランド・ズロチは追加利下げ期待が後退したことや、経済的な結びつきの強いユーロの影響を受け、対円では一進一退で推移しています。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、国営石油会社ペトロブラスに関わる汚職問題や財政悪化懸念から対円で大きく下落しています。メキシコ・ペソは、主要輸出品目である原油価格や海外市場のセンチメントに左右され、対円で下落しています。ペルー・ソルは中央銀行の介入があったことから対円での下落は小幅にとどまっています。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

よくあるご質問 (Q&A集)

＜オプション市況＞

新興国通貨オプションの対円1カ月ボラティリティは、8月以降、中国の人民元切り下げをきっかけとした新興国経済の減速懸念の高まりや、商品価格の下落によって投資家のリスク回避姿勢が鮮明になったため、全ての通貨で上昇しています。

【今後の見通し・運用方針】

新興国を取り巻く環境は、これまでの米国を中心とした金融緩和環境による資金流入と、中国の巨額公共投資を背景とした輸出需要による好環境が反転し、厳しい状況にあると言えます。

一方で、新興国は高成長局面で財政状況や対外収支バランスを大幅に改善しており、過去の危機時のような脆弱(ぜいじゃく)性は小さいと言える上、今後さらに調整圧力への懸念が強まれば、中国政府の追加対策や米国の金融引き締めの延期観測がそれぞれ相場を下支えすることも想定されます。

また、調整圧力は各国にとって一様ではなく、構造改革の有無も含め、相場全体の調整は魅力的な投資機会を提供するものと考えられます。

今後とも新興国を取り巻く環境に注意を払いつつ、国別での政治、経済、社会問題等のファクターを考慮して投資対象国を選別していきます。

当ファンドにおいては、新興国の現地通貨建債券への分散投資とオプション取引を活用した通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムを獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

以上

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

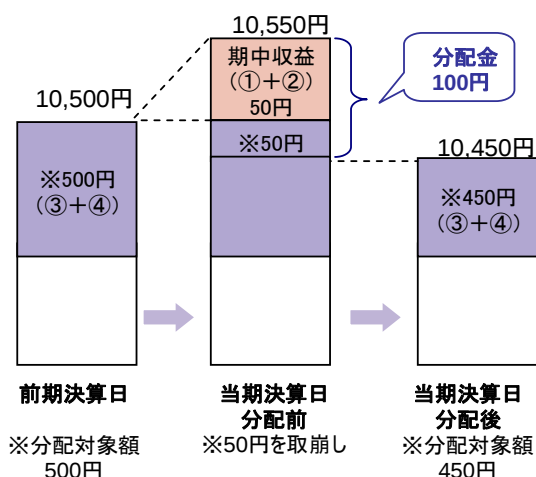
投資信託で分配金が支払われるイメージ



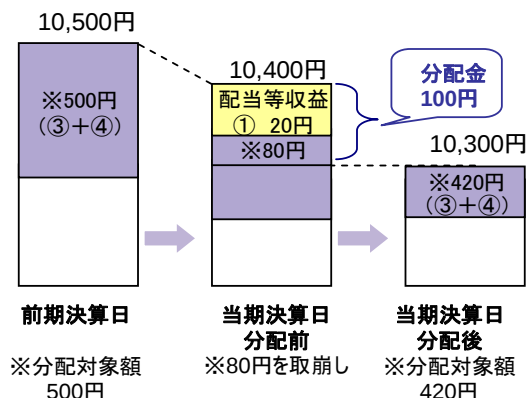
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



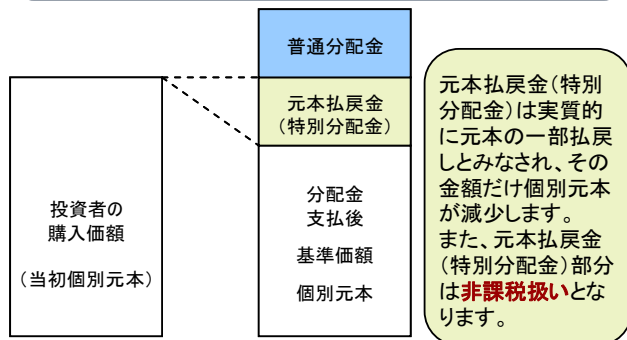
前期決算日から基準価額が下落した場合



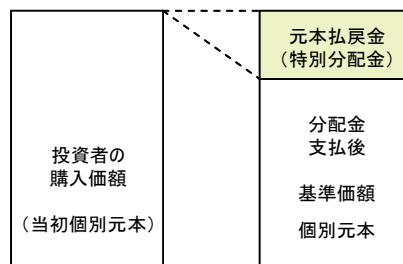
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「為替変動リスク」、「カンントリー・リスク」、「通貨カバードコール戦略の利用に伴うリスク」、「スワップ取引の利用に伴うリスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	0.20%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.161% (税抜 1.075%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.575%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.736%(税込)程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会